

進級、入園おめでとうございます。今年度も、子どもたちにとって、また保護者の方々にとって、そして、この園で働く職員にとっても、楽しい1年にしたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

さて、「世界でいちばん貧しい大統領」として有名なウルグアイのムヒカ元大統領が来日されましたね。少し前から、ブラジルで開催されたリオ会議でのスピーチが話題になっており、私も興味を持っていたのですが、今回の来日でテレビの特集番組を見ながら、本当にそうだなあ、私たちが考え直さなきゃいけないなあと感じることがたくさんありました。

ムヒカ元大統領の言葉をいくつかご紹介します。

- ◆ 「貧乏な人とは、少ししかものを持っていない人ではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人のことです。」
 - ◆ 「君が何かを買うとき、お金で買っているわけではない、そのお金を得るために使った『時間』で買っているのだ。」
 - ◆ 「若い人には恋する『時間』が必要です。子どもが生まれれば、子どもと過ごす『時間』が必要です。働いてできることは、請求書の金額を払うことだけ。職場と家の往復をするだけに時間を使っていると、いつの間にか老人になってしまいます。」
 - ◆ 「幸せとは物を買うことと勘違いしているからだよ。幸せは人間のように命あるものからしか、もらえないんだ。物は幸せにしてくれない。幸せにしてくれるのは生き物なんだ。」
 - ◆ 「私たちは発展するために生まれてきているわけではありません。幸せになるためにこの地球にやってきたのです。人生は短いし、すぐ目の前を過ぎてしまいます。命よりも高価なものは存在しません。」
 - ◆ 「発展は幸せの邪魔をしてはならない。発展は『人類の幸せ』『愛』『子育て』『友達を持つこと』、そして『必要最低限のもので満足するために』あるべきものなのです。なぜならそれらこそが、一番大切な宝物なのだから。環境のために闘うのなら、一番大切なのは『人類の幸せ』であることを忘れてはなりません。」
- などなど・・・

穏やかそうに見えるムヒカ元大統領ですが、驚くべきことに、若い頃はゲリラ組織に入ってゲリラ活動を繰り返し、4度の逮捕歴があるそうです。その当時のウルグアイは軍事政権が暴力で国を治めていた時代なので、そうした政権へ抵抗すべく活動をしていたとのこと。13年近く独房に収監され、その独房生活の中で「ゲリラ活動では何も変わらない、文化を変えなければいけない」と考え方を変えたそうです。ウルグアイの大統領になってからも、「政治家は、多くの国民と同じ暮らしをすべき」「お金があまりに好きな人は政治の世界にいるべきではない」という信念を持ち、給料の9割を寄付し、月々わずか10万円ほどの質素な生活をしていたとのこと。この辺は、日本の政治家にもぜひ見習ってほしいですね。

「日本が今の消費社会から脱却することは実現可能だと思いますか」との質問に、「君が日本を変えることはできない。でも、自分の考え方を変えることはできるんだよ。世の中に惑わされずに自分をコントロールすることはできる。」と答えていたことも印象的でした。

身に付いてしまった価値観を変えるのは難しいことかもしれませんが、しかし、ムヒカ氏が言うように、世の中を変えることはできなくても、自分の考え方を変えることはできるはずですよ。消費（浪費）社会に支配されてしまわないように、本当に大切な物を見失わないようにしていきたいものです。